

横浜市インフルエンザ流行情報 20 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

B 型の割合が増加しています

【第 5 週（1 月 29 日～2 月 4 日）の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **24.43** となり、流行注意報が発令中です。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 79.2% を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は、小学校を中心に 131 施設、患者数は 2,143 人です。
- ✓ 市内迅速診断キットの結果は、A 型 34.1%、**B 型 65.8%**、A 型・B 型共に陽性 0.2% で、**B 型の割合が増加**しています。
- ✓ 病原体分離・検出状況^{※2}は、AH3 が多く、全国と同様の傾向です。

☞ 咳エチケットや正しい手洗い^{※3, ※4}等でインフルエンザを予防しましょう。

※1 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただいている医療機関（市内 153 か所）から報告された患者数の平均値です。

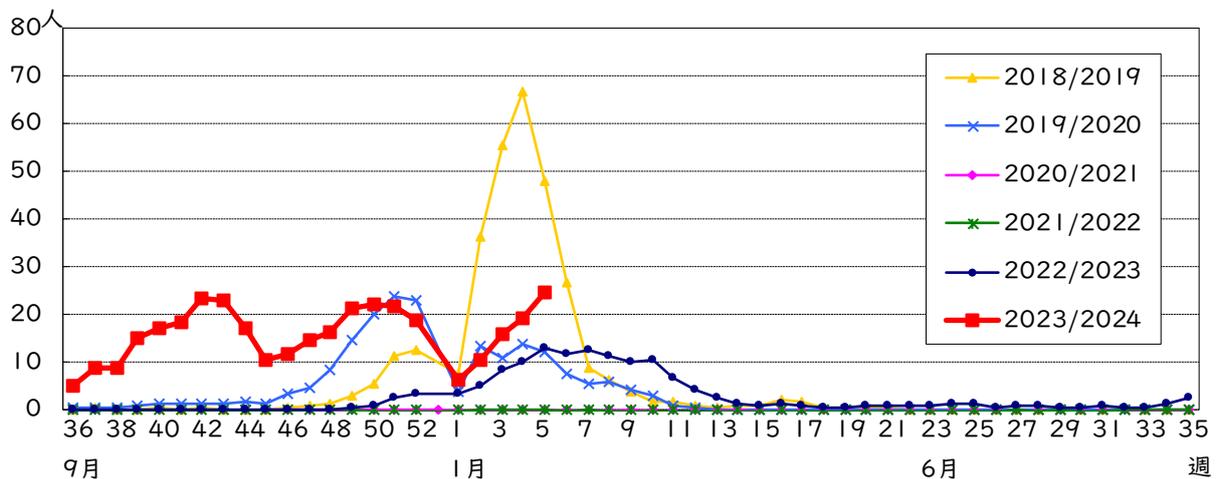
※2 インフルエンザウイルス分離・検出速報（国立感染症研究所）

※3 横浜市保健所ホームページ（「正しい手洗い方法」および、掲示用ポスター「石けんで『手』を洗おう」をトップページに掲載しておりますので、是非ご活用ください）

※4 令和 5 年度インフルエンザ Q&A（厚生労働省）

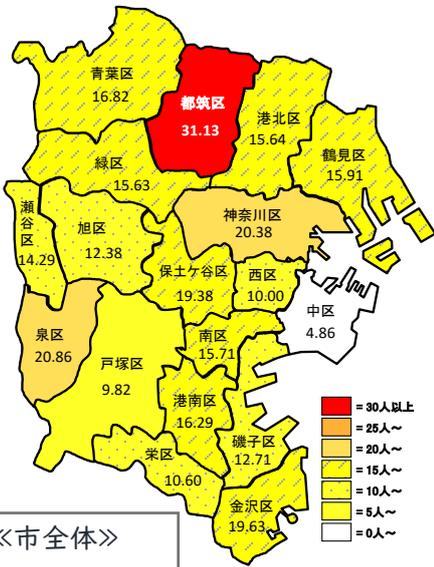
【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2023/2024 シーズン開始の第 36 週（4.91）以降増加が続き、第 39 週（14.86）に流行注意報発令基準値（定点あたり 10.00）を上回りました。第 5 週は 24.43 です。

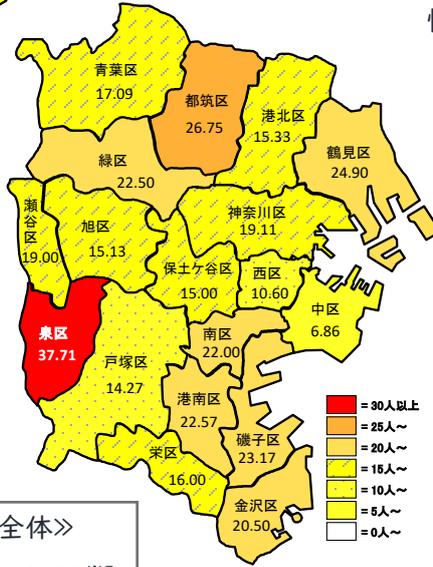


地図で表した直近3週間の区別流行状況
(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

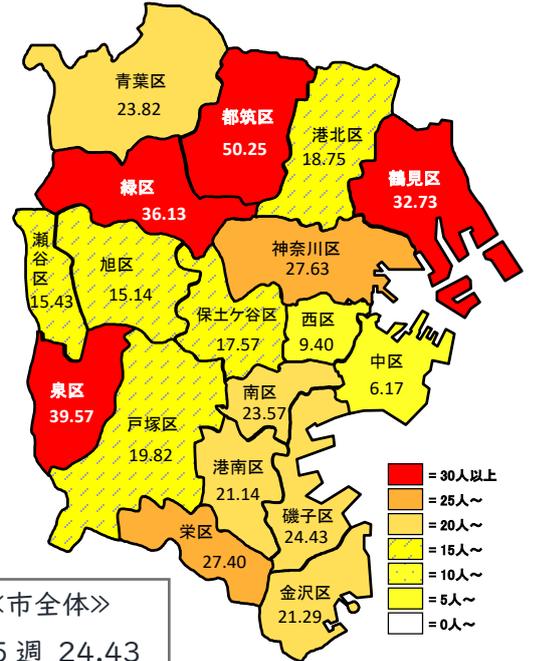
※5 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。



《市全体》
第3週 15.86



《市全体》
第4週 19.29※5



《市全体》
第5週 24.43

【参考】

直近流行(2022/23シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり1.00以上】

第51週(2022年12月19日~12月25日)

流行注意報発令【定点あたり10.00以上】

第5週(2023年1月30日~2月5日)

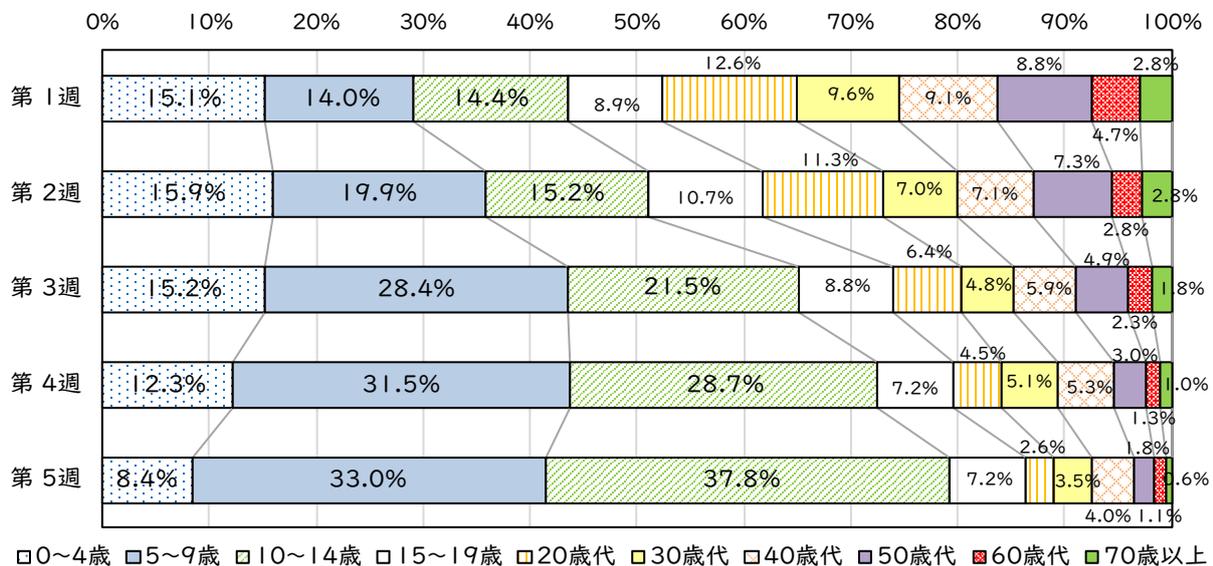
流行注意報解除【定点あたり10.00未満】

第11週(2023年3月13日~3月19日)

【年齢層別集計】

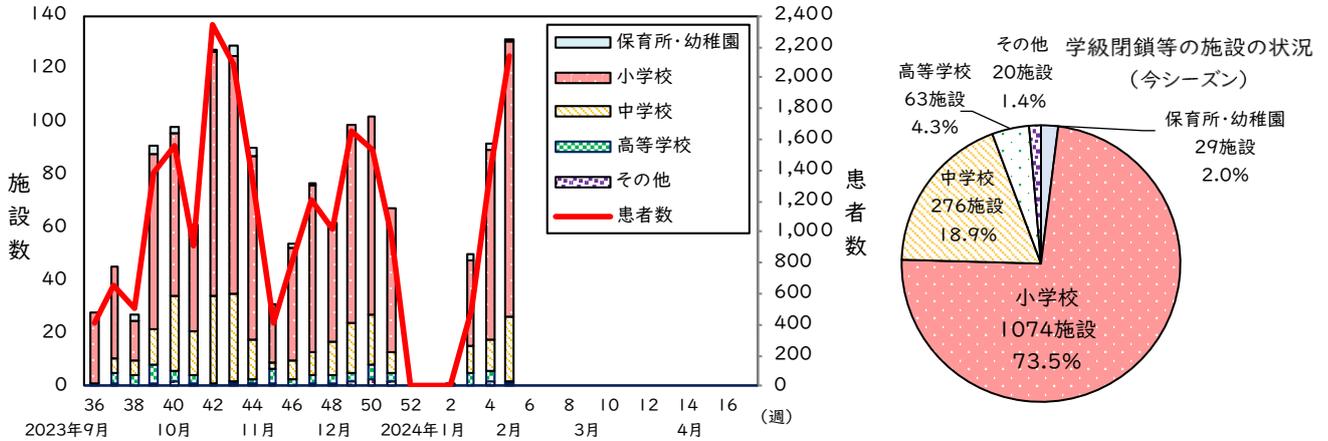
第5週の患者年齢構成は、10歳未満が41.4%、10歳から15歳未満が37.8%で、15歳未満が全体の79.2%を占めています。

<年齢層別患者割合>



【市内学級閉鎖等状況】

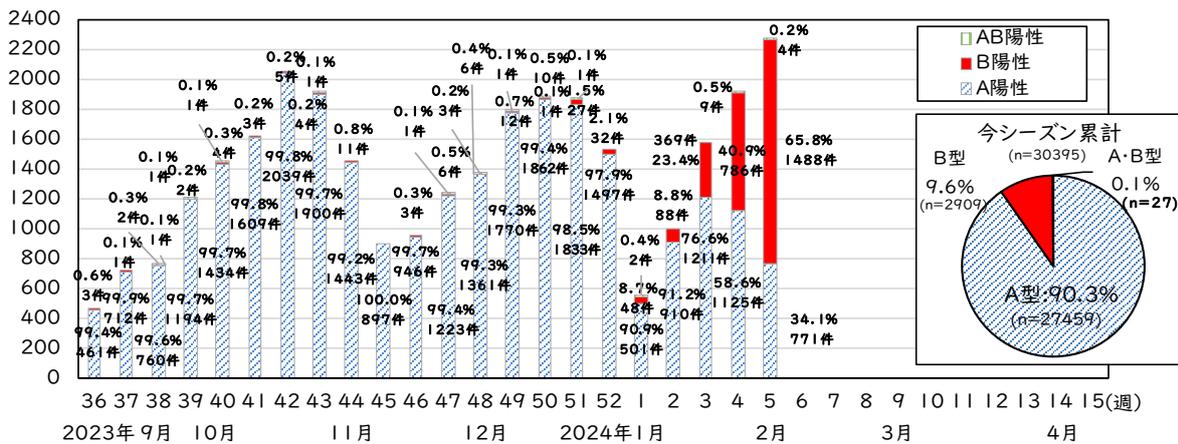
第5週は、131施設（保育所・幼稚園1、小学校104、中学校24、高等学校1、その他1）から、2,143人の患者数の報告がありました。今シーズンの累計は1,462施設、延べ22,879人の患者数が報告されています。施設の割合は、保育所・幼稚園2.0%、小学校73.5%、中学校18.9%、高等学校4.3%、その他1.4%です。



【迅速キット結果】

第5週は、迅速キットの結果は、A型34.1%、B型65.8%、A型・B型共に陽性0.2%で、B型の割合が増加しています。

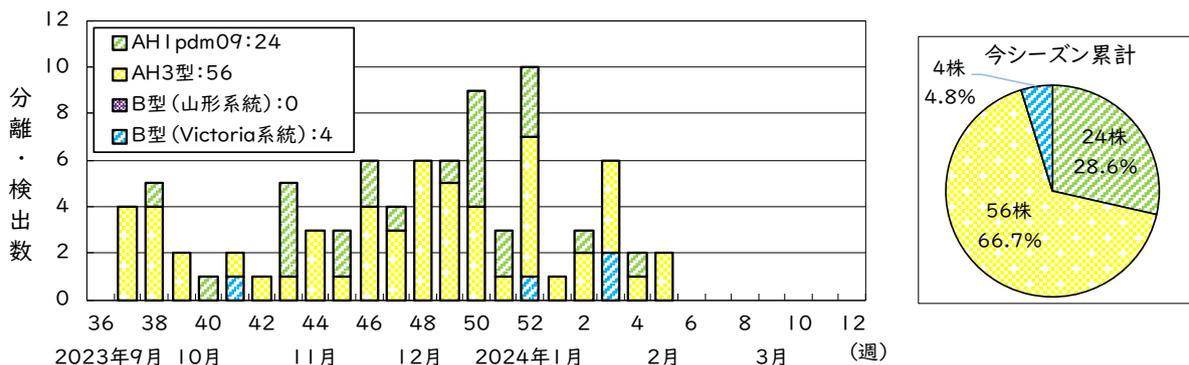
今シーズンの累計は、A型90.3%、B型9.6%、A型・B型共に陽性0.1%です。



【市内病原体検出状況】

市内の病原体定点^{※6}から、AH3型が56株、AH1pdm09が24株、B型(Victoria系統)が4株分離・検出されており、全国の分離・検出状況と同様の傾向と考えられます。

＜市内病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・検出状況(2024年2月5日現在)＞

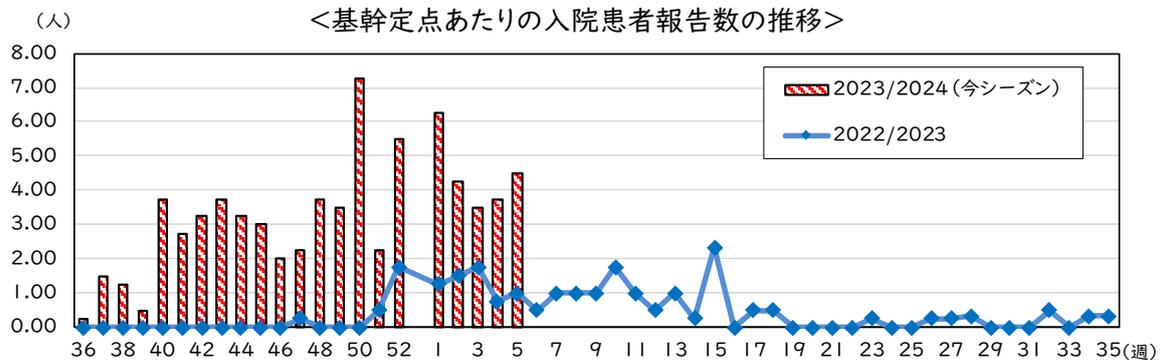


※6 病原体定点:採取した検体を衛生研究所に送付する医療機関で、市内に17か所あります。うち、インフルエンザについては12か所にて採取されています。

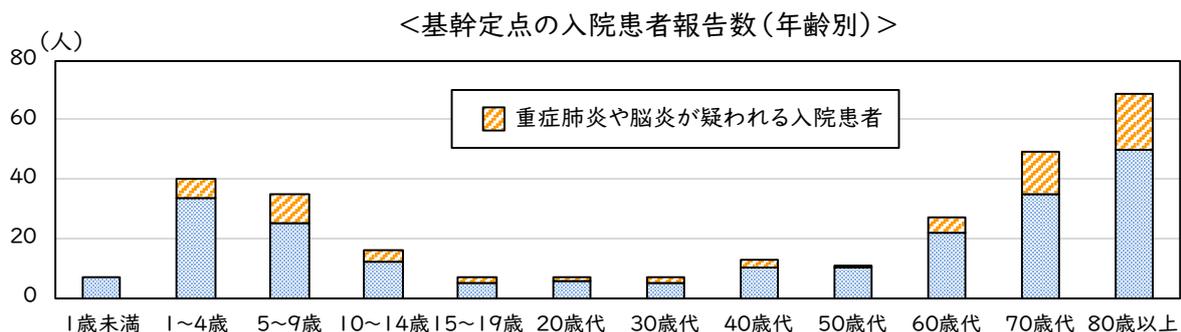
【入院サーベイランス】

市内基幹定点医療機関^{※7}におけるインフルエンザ入院患者は、第5週は18人の報告があり、今シーズンは現在までに累計288人(10歳未満82人、10歳代23人、20歳代7人、30歳代7人、40歳代13人、50歳代11人、60歳代27人、70歳代49人、80歳以上69人)です。

入院時の診療内容(ICU入室、人工呼吸器の利用、頭部CT検査、頭部MRI検査、脳波検査を実施)で重症肺炎や脳炎が疑われる患者は、現在までに累計で67人(うち第5週報告数は4人)です。



※7 基幹定点:患者を300人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には4つの基幹定点があります。



※ 小数点以下第2位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。

* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

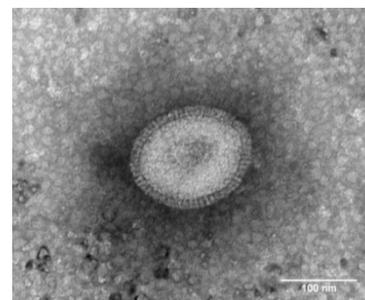
- [神奈川県](#)
- [川崎市](#)
- [東京都](#)

全国の流行状況

- [国立感染症研究所](#)

インフルエンザウイルスの
電子顕微鏡写真(6万倍)

撮影:
横浜市衛生研究所



【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
横浜市医療局健康安全課

TEL 045(370)9237
TEL 045(671)2463